

3 個別指導計画の作成

(1) 幼稚園・保育園・こども園の記入例と記入要領

令和 年度		個別指導計画(学期)		台東区立()幼稚園・保育園・こども園	本児・保護者の願い	
氏名		在籍学級	歳児			
担任氏名		支援員名	※担当支援員名			
保護者				○友達と一緒に遊ぶことができる。	○友達と一緒に遊んで、楽しい幼稚園生活を過ごして欲しい。	
かかわりの かかわりの か遊び か遊び かかわりの かかわりの かかわりの かかわりの	○登園後の準備ができない。 ○各活動において、気持ちの切り替え ができるようになる。 ○友達と一緒に遊ばない。 ○運動遊びが苦手である。 ○自分の思い通りにいかないと癪 を起こす。 ○一斉指示が聞けない。	幼児の実態	(短期)目標	☆担任の役割 ★支援員の役割 ★登園後の準備の手順を陰で示す。 ☆でききたことを称賛する。 ☆1日の活動の流れを絵や写真で掲示しておく。 ★支援員は登園準備後に、1日の活動を知らせる。 ★活動中に、終わりの時刻を早めに知らせる。 ☆でききたことを称賛する。 ★支援員が寄り添い、一緒に遊んだり、友達と一緒に遊 べるように見守りをしたりする。 ★支援員が手伝つてできるようにする。 ☆できたことについて称賛する。 ○友達と同じ空間で遊ぶ。 ○手伝つてできるようになる。 ○自分の気持ちを少しずつコントロールして いけるようにする。 ○話し手の顔を見て聞く。 ○部分的に参加する。	☆担任の役割 ★支援員の役割 ○時々、支援員の声かけが必要であるが自 らできようになつた。 ○夢中になつて、まだできない時がある。 ○友達と一緒に遊ぶことが3回あつた。 ○同じ空間で遊ぶことはできるようになつ た。 ○最初の頃に比べ減つてきている。まだ支 援が必要である。 ★★聞いていたが、内容を分かつていてないことがあ る。 ☆保護者に状況の説明と理解を得ておく。 ☆気の合う友達や支援員と手を繋いで参加する。 ☆できたところを称賛する。	評価
集団活動での 活動での	○行事に参加できない。				○友達と一緒に遊んだり、行事に参加したりして園生活の楽しさが分かる。	

※ (全行) LAN) 台東区 > 生涯学習センター > 教育支援館 > 閱覧 > 個別指導計画参考様式(幼・保・こ) > 【幼・保】個別指導計画(参考様式)

令和 年度		個別指導計画(学期) ←※学期毎に記入する。	
氏名	在籍学級 担任氏名	本児 ○友達と遊びたい。	本児・保護者の願い
	支援員名 ※担当支援員名	保護者 ○皆と同じ行動ができる。 ○友達と仲良く遊び、楽しい幼稚園生活を過ごして欲しい。	※本人の思いや保護者の願いについて相談しながら個別指導計画を作成することを通じて、保護者との信頼関係を深める。

	幼児の実態	(短期)目標	支援 方法 ☆担任の役割 ★支援員の役割	評価
か 生 か 活 わ へ り の	○登園後の準備ができるよ。 ※左記の4項目について、本人の実態を記入する。 ○各活動ができる	○自分で準備ができるよ。 ※その学期に達成が可能であると思われる目標を具体的に書く。 ※優先度が高く、本人、教員、支援員が取り組みやすいことから重点化して記述する。	★登園後の準備の手順を絵で示す。 ☆できたことを称賛する。 ※教材・教具の提示の仕方や声のかけ方の工夫。興味・関心がもてるような活動の工夫。活動の成果が確認できるような工夫など。	○時々 支援員の声かけ ^{うきつけ} をするが自ら目標に沿って、どのような姿がみられたのか、達成状況はどの程度なのが触れたながら、成果と課題を具体的に書く。 ※設定した目標や支援方法が本人に合っていたかどうか書く。 ○「かなり」「一応」などの曖昧な表現は避け具体的に書く。
か 遊 か び へ り の	○友達と一緒に遊ばない。 ○運動遊びが苦手である。	○手伝つてできるようになる。	※学期途中で、手立てが有効でなくなった時は、修正をする。(支援・方法のレベルを調整する。) ※担任と支援員の役割を☆と★で表すことで役割分担を明確にする。	○遊び場に比べ減つてきている。まだ支援が必要である。
か 人 へ り の	○自分の思い通りにいかないと精神を起こす。	○自分の気持ちを少しずつコントロールしていけるようにする。	★本児の気持ちに寄り添い代弁する。癪癪が収まつた頃に、「そんな時もあるよ。どうしたらよかったです？」と前向きな考え方がもてるようになれるよう導く。前向きな考えに称賛する。 ★担任に知らせる。 ☆称賛する。	○初めの頃に比べ減つてきている。まだ支援が必要である。
集 団 活 動 の	○一斉指示が聞けない。 ○行事に参加できない。	○話し手の顔を見て聞く。 ○話題に参加する。	★本児のそばに行き、担任に注意を向けるように促す。 ★聞いていたなかった時は、分かりやすく簡単な言葉で伝えれる。 ☆保護者に状況の説明と理解を得ておく。 ☆気の合う友達や支援員と手を繋いで参加する。 ☆できたらところを称賛する。	○指示をする担任の顔を見て聞けるようにになったが、内容を分かっていないことがある。 ○運動会は、支援員がそばに付いていたり手を繋いでいたりして参加できた。

学期の目標 ○友達と一緒に遊んだり、行事に参加したりして園生活の楽しさが分かる。

※1年後の姿を記述する。※特に優先順位の高い目標を1つか2つ程度定める。

(2) 小学校・中学校的記入例と記入要領

令和 年度		個別指導計画（学期）		～記 入 例～	
氏名	在籍学級	男 担任氏名	女 支援員名	台東区立()小学校・中学校 本児・保護者の願い	
本児・生徒 ○勉強ができるようになる。					
保護者				○集中して学習できる。 ○周りに迷惑をかけない。	
課題	目標	支援・方法 ☆担任の役割	★支援員の役割	評価	
○勝手に離席をする。	○授業に集中して取り組む。	☆集中が切れそうになつたらプリントを配る等働く役割をつくる。 ☆問題量を減らす。 ★集中時間10分から増やす(終了後は机上でできるやりたいことをする:読書、絵を描く、折り紙を折るなど)。 ☆こだわりを生かす活動(飼育)を任せせる。 ☆できることを称賛する。	○離席はなくなつた。 ○15分間の学習ができるようになった。 ○30分間を目指す。		
○変更があるとパニックを起こす。	○こだわりを減らしていく。	☆パニックを起こした時に落ち着ける場所をつくる。 ★パニックを起こしたら、落ち着ける場所に移動させる。 ☆根気的に見て分かるように黒板の隣に記入する。 ★早めに伝える。	○気持ちをコントロールする時間が、初めに比べて半分ぐらいはやくなつた。		
○机上・中が汚雜である。	○身の回りの片づけができる。	★机の中や机上の物の置き方の手本となる写真や絵を見せる。 初めは一緒にやる。 ☆整つている様子を見つけて称賛する。	○机上やロッカーの中はきれいに整っている。 机の中は、声かけが必要である。		

個別指導計画（学期）※学期毎に記入する。			
令和 年度	台東区立()小学校 中学校	児童・保護者の願い	
氏名	在籍学級	○勉強ができるようになる。 ○周りに迷惑をかけない。	※本人の思いや保護者の願いについて相談しながら個別指導計画を作成することを通して、保護者との信頼関係を深めていく。
担任氏名	○集中して学習できる。	○離席はなくなりた。 ○15分間の学習ができる。	
支援員名	○集中が切れそうにならないからプリントを早く読み切る。 ☆問題量を減らす。	※目標に沿って、どのよな姿がみられたのか、達成状況はどの程度なのか触れたながら、成果と課題を具体的に書く。 ※設定した目標や支援・方法が本人に合っていたかどうか書く。 ※「かなり」「一応」などの曖昧な表現は避けて具体的に書く。	
課題	目標 ○授業に集中する。 ○勝手に離席をする。 ※本人の教育的ニーズを把握し、生活や学習の困難さや困り感を記入する。 ○変更があるとパニックを起こす。	☆担任の役割 ★支援員の役割 ○身の回りの片づけができる。 ○机上・中が乱雑である。	評価
	☆その学期に達成が可能であると思われる目標を具体的に書く。 ※教材・教具の提示の仕方や声のかけ方にに関する工夫。 ☆興味・関心がもてるような学習活動に関する工夫。 ☆見通しがちてどのような活動の順序に関する工夫。 ☆学習の成果が確認できるような工夫等。 ○こだわり ★机上やロッカーの中はきれいに整っている。机の中には、声かけが必要である。		
	☆優先度が高く、教員が取り組みやすいことから、焦点化して書く。		
	○（支援・方法のレベルを調整する。） ※担任と支援員の役割を☆と★で表すことで、役割分担を明確にする。		
	○身の回りの片づけができる。		
	○机上・中が乱雑である。		

年間の目標 ○離席をしないで45分間の授業を受ける。 ○友達と関わりながら学習や活動ができる。 ○1年後の姿を記述する。 ※特に優先順位の高い目標を1つか2つ程度定める。